

Social

Good!



分科会No.03

ソーシャル・グッド！な、お買い物

2015年2月7日(土) 10:00~12:30

飯田橋セントラルプラザ12F

ソーシャルビジネスは、貧困問題、環境保護、障がい者支援・高齢者介護の福祉から子育て支援など、社会的課題をビジネスを通して取り組むことです。この分科会では、ソーシャルビジネスを学ぶとともに、普段のお買い物で社会的な課題を解決できること、「ソーシャル・グッド！」をご紹介します。

普段私たちが買っている商品が、どんな人が、どのようにして作られているのか考えてみませんか？

東日本大震災の復興支援、障がい者の就労支援、途上国の貧困問題に取り組む方々に、生産者や商品、商品に込められた思いについて伺います。

【出演者プロフィール】

東日本大震災で被災した
女性たちが作ったアクセサリー



復興支援

一般社団法人つむぎや 友廣裕一
OCICA

大学卒業後、日本全国70以上の農山漁村を訪ねる旅を通じて、各地の暮らしや仕事について学ぶ。東日本大震災以降は石巻市を拠点に、牡鹿半島の漁家の女性たちと「OCICA」「ぼっぼら食堂」の事業を立ち上げや、東北のものづくりの新たな物語をつくる「TOHOK」等を運営。

精神障がいのある人々の自立を目指した
福祉作業所で作られたお菓子



障がい者
就労支援

社会福祉法人はる 鹿島法博
パイ焼き窯・パイ焼き茶房

新潟に生まれヤンチャしながら育ち、上京して約40年。学生時代に結婚。その後、飲食店、電子回路の設計、営業などさまざまな職種を経験。この経験を活かせる仕事がしたいと思い、「はる」に入職。

バングラデシュ・ネパールの
女性たちが作った手工芸品



フェア
トレード

認定 NPO 法人シャプラニール=市民による海外協力の会 勝井裕美
クラフトリンク

金融機関に勤務後、「シャプラニール」に入職。フェアトレード部門、国内活動部門を経て、ネパール事務所長に赴任し、地域に根ざした防災や児童労働削減に努めてきた。12年に帰任後は、再びフェアトレード部門でチーフを務める。